



ハイブリッドリハビリスタジオ

MOESTAα

hybrid rehabilitation studio

更なる進化

モエスタアルファ山の手

林恵太



1.ご利用者様情報

氏名：A様(男性)

年齢：70代前半

既往歴：右脳梗塞 H27.4

ご利用開始日：H27.9～現在

生活状況：在宅

ご利用経緯：脳梗塞発症後病院でのリハビリ終了後の更なる身体機能の向上のため今後のリハビリ場所を探していたところモエスタα山の手を体験いただき選出していただいた。



2.前回まで振り返り

・10m歩行評価

【H27.9】	1分15秒	(初回ご利用時)
	↓	
【H27.12】	51.5秒	(ご利用3カ月目)
	↓	
【H28.3】	40.5秒	(ご利用6ヶ月目)

ご利用開始から約半年で10M歩行
を35秒短縮する事に成功した！



ハイブリッドリハビリスタジオ

MOESTAα

hybrid rehabilitation studio

2. 前回まで振り返り

- ・歩行の様子(初回ご利用時)





ハイブリッドリハビリスタジオ

MOESTAα

hybrid rehabilitation studio

2. 前回まで振り返り

- ・歩行の様子(ご利用6ヶ月目)





3. 現在までの経過

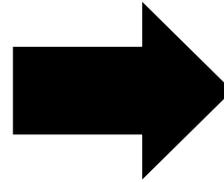
- ・ ご利用当初は術者からのご提供させていただいたさくメニューをこなし、あらゆる動作をする上での身体機能の土台作りを行ってきました。そして麻痺側の随意性・支持性の向上、健側の筋力向上などにより土台が出来上がり自力可能動作の幅が広がったことにより、日常動作全てがリハビリに出来るようになった。



4.プログラムの経過

ご利用開始～1年

- ①個別リハビリ
(ROMex、足関節随意性向上ex、麻痺側膝関節支持性向上ex)
- ②レッドコードex
- ③パワリハ
(大腿四頭筋強化)



1年～1年9か月目

- ①個別リハビリ
(全身の筋疲労、筋緊張緩和ex)
- ②レッドコードex
- ③リカベントバイク
(約30分)

随意性・支持性の向上が見られ、日常動作での活動で十分に筋カトレーニングになると判断し、筋力強化関連のプログラムをカット！個別リハビリではダメージの蓄積を避けるためリラクゼーションに徹した。リハビリによる筋緊張の増加が限りなく少ないリカベントバイクexで体力の向上を狙った。



ハイブリッドリハビリスタジオ

MOESTAα

hybrid rehabilitation studio

それでは現在のA様の歩行の
様子をご覧ください。



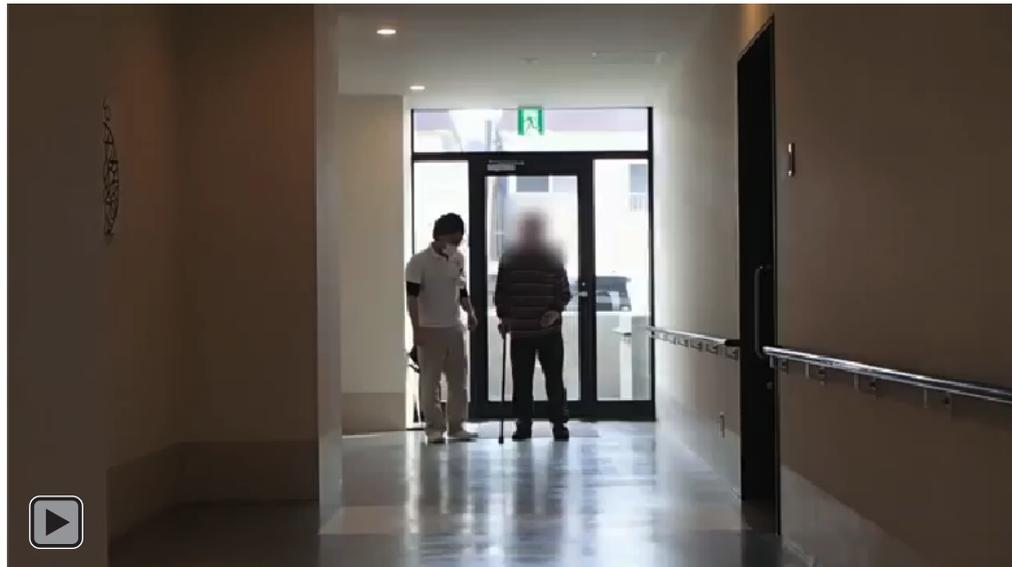
ハイブリッドリハビリスタジオ

MOESTAα

hybrid rehabilitation studio

5. 現在のご様子

- ・ 歩行のご様子(ご利用開始より1年9か月目)





ハイブリッドリハビリスタジオ

MOESTAα

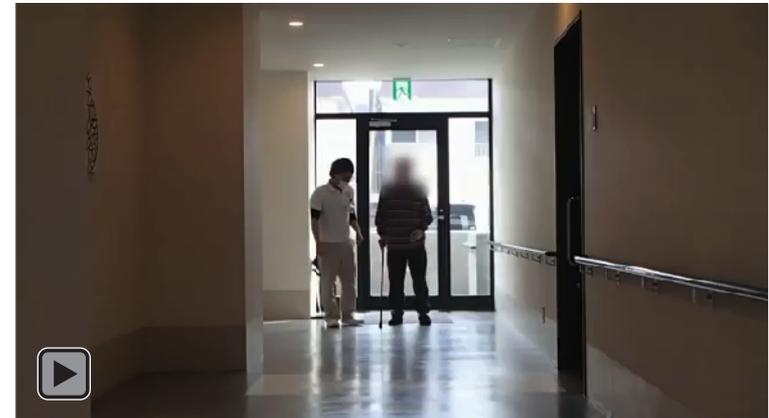
hybrid rehabilitation studio

6. 歩行比較

【初回ご利用時】



【ご利用時1年9か月目】





7.評価

・ 10m歩行評価

【H28.3】 40.5秒 (ご利用6ヶ月目)



【H29.5】 24.6秒 (ご利用1年9か月目)

さらに10m歩行の16秒短縮に成功！

ご利用開始から50.4秒の短縮に成功している
のです！



8.生活の変化

- 単独での外出

これまで定期受診に行かれる際はご家族様の付き添いが必要でした。

ですが今はお一人でタクシーに乗り病院に行くことが出来るようになっており、より自立した在宅生活に近づいております。



9.課題と対策

・ダメージの蓄積

これまで身体ダメージの蓄積を懸念して取り組んできました。しかし日常的に杖の使用は欠かせません。麻痺側に比べ右側の荷重及び使用比率が高いためダメージの蓄積が見られてきている。

【対策】

肩・腰の慢性疼痛とならぬよう現状の身体機能維持期間の延長のため、今の内にヘルパー支援等の手助けを増やすことを担当ケアマネージャーの方と連携をとりご提案しております。



10. 統括・おわりに

麻痺の回復はプラトーといわれる“発症から3カ月がピーク”となるという定説があります。そのためそれ以降のリハビリテーションの効果は低く、経過が経つにつれて回復の過程は緩やかになるというのが一般的な見解です。

しかし、A様の場合ご利用開始時にはプラトーは過ぎておりましたがご利用開始から半年で大きな身体機能の回復を遂げました。そしてそれからまた1年経過し進化を続けています。

結果我々がこれまでの1年何をしていたかと申しますと定量運動と休息による身体機能の底上げを行ったのです。

運動を行った時間と同等の時間の休息を取って頂き、個別リハビリでは筋緊張、筋疲労緩和に徹しました。体にダメージを残さず運動した分のみを体に吸収して頂くためです。そんな徹底を一年続けました。一見単純で華やかな内容では決してありません。ですがスタッフを信じて下さりひたむきにリハビリを続けて頂けた結果が今回の成果です。